慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	アラブ民主化の行方：エジプトを中心に：解題
Sub Title	
Author	山本, 爲三郎(Yamamoto, Tamesaburo)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2013
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.86, No.1 (2013. 1) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特別記事：慶應義塾大学法学部法学研究所講演会
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20130128-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

特別記事：慶應義塾大学法学部法学研究所講演会

アラブ民主化の行方――エジプトを中心に

解　題

法学部法学研究所長　山本　爲三郎

昨年（二〇一二）六月一一日（月）、三田北館ホールで、富田広士法学部教授による「アラブ民主化の行方―エジプトを中心に―」と題する講演会を開催した。昨年度第一回目の法学研究所主催講演会である。世界は近年ますます狭まってきており、これまで日本と緊密な関係になかった国々での出来事にも我々はいろいろな影響を受けるようになった。しかし、エジプトを中心とするアラブの国々は遠い。距離的にも、文化的にも、そして宗教的にも。アラブ社会の民主化に関心はあるけれども、正確な情報は少なく、現在進行している民主化関連の時事問題（講演日当日はエジプトの大統領選の最中であった）をどのように評価してよいのか、判断基準にも迷う。そこで、この分野研究において日本の第一人者である富田教授に、講演表題の解説をお願いした。

富田教授は、中東地域研究に関する数多くの邦文あるいは英文の論文を発表される一方、エジプトを中心とするアラブ諸国で毎年のように調査研究される行動的研究者でもある。本講演会の直前である昨年三月にも約一か月間エジプトに滞在され、同五月にはエジプ

ト人研究者と日本中東学会でセッションを開催されている。

講演当日は、学生、会社員、公務員、研究職、ジャーナリストなど多分野、多数の聴衆が北館ホールを埋め、中東関連の仕事をされている方も多かった。講演内容は次に掲載されているが、豊富な資料を用いた多角的な分析を提示され、また、ご自身のエジプト滞在中の体験や見聞を交えた臨場感あふれるご講演であった。講演後の質疑応答では、経済格差の問題（貧困や若者の失業問題）と民主化の関連性について詳細な説明がなされた。そして、講演会終了後も多くの参加者が列を作り、それぞれが個別の質問をなしながら富田先生のご見解をメモする光景が三〇分以上も続いた（ホール使用の時間的制約がなければ一時間以上続いたかもしれない）。他大学からの参加者も多く、本講演が待ち望まれていたことを窺わせた。

一八時三〇分から二〇時過ぎまで、熱のこもったご講演と質問に対する丁寧な応答をしてくださった富田教授に御礼申し上げるとともに、質問者を含む聴衆の方々の真摯な参加姿勢に敬意を表したいと思う。